

総務・教育委員会

今年度の重点活動テーマである「小中一貫教育への取り組み」について、7月11日から14日の日程で、先進地を視察しました。徳島県阿南市では、小中連携型である「チェーンスクール」を視察しました。これは、中学校を中心として、離れた場所にある2小学校との連携事例です。徳島県牟岐町では、小中一体型である「パッケージスクール」を視察しました。小中学校が渡り廊下でつながった一体型です。それぞれのメリットやデメリットについて学びました。



また、8月25日に登別市校長会と、本市が取り組んでいる特徴的な教育活動である「コミュニティスクール」「土曜授業」「小中一貫教育」の現状について、意見交換を行いました。

今後は、議会フォーラム・各種団体との意見交換を踏まえた委員間での討議をさらに深め、本市としての小中一貫教育の方向性について政策提案していく予定です。

(村井)

生活・福祉委員会

今年度の重点活動テーマは「生活困窮者自立支援法に係る施策について」です。このテーマが抱える課題として、
①自立支援法に係る制度への理解が十分得られていないこと。
②生活困窮者の実態把握が難しいこと。
③市で実施することができない任意事業への取り組みが遅れていること。

以上の理由が考えられ、それらとかわりのある諸団体と意見交換を行い、各団体が抱える課題や実態を把握し、提言をいただきました。

社会福祉協議会からは、小地域ネットワークやいきいきサロンの活動などを通して、支え合える地域づくりへの取り組みや自立支援事業における支援員の人材確保が必要とのことでした。また、民生・児童委員協議会からは、高齢者の就労支援対策、就職時における保証人、保証機関の整備、二トの社会参加への支援が必要とのことでした。



(渡辺)

観光・経済委員会

年間活動計画に沿って、商店会と意見交換会を行いました。商店会の現状や課題の認識ならびに将来の商店会のあり方を話し合いました。

現状については、①後継者不足②小規模経営での価格競争の厳しさ③補助金申請のための書類作成の煩雑さなどを伺いました。

課題については、①空き店舗にオーナーが住んだままでも活用できる方策②全市観光への取り組み③街頭放送が老朽化などで休止しているため、まちなかの雰囲気づくりの放送ができないなどを伺いました。

また、防災放送が聞こえにくいため街頭放送を役立てられないか。閉店エリアに交通ターミナルを設置し、バスターミナルやタクシー乗降所、駐車場を設け、人の流れを生み出せないか。登別漁港に観光客も利用できる市場の設置を検討してはとの提案をいただきました。今後のまちづくりにつなげて参ります。

(米田)

